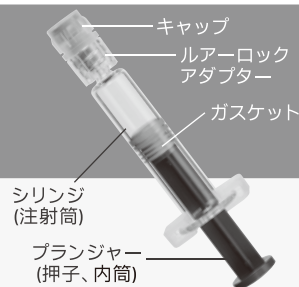


キャップボックス[®] 筋注シリンジ 使用方法

本剤は筋注用です

キャップボックス[®] 筋注シリンジ
21価肺炎球菌結合型ワクチン
(無毒性変異ジフテリア毒素結合体)



1 冷蔵庫から取り出し、常温になってから速やかに使用します。

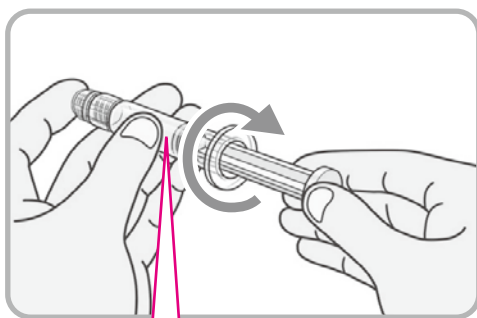
- 誤って凍結させたものは品質が変化しているおそれがあるので使用しないでください。
- ワクチン名、製造番号、最終有効年月日を確認してください。
- 最終有効年月日が過ぎたものは使用しないでください。

2 予防接種の注射針を用意します。

- 注射針は添付されていません。
- 針長は筋肉内接種に足る長さで、神経、血管、骨等の筋肉下組織に到達しないよう、各被接種者に対して適切な針長を決定してください。

3 包装箱からシリンジを取り出し、プランジャー (押子、内筒) が緩んでいないか確認します。

- プランジャーとガスケットの接合は、ねじ込み式のため、取り扱い時に接続が緩むおそれがあります。
- 緩んでいる場合には、キャップを押さえ、プランジャーを時計回りに回転させてガスケットにねじ込み、しっかり固定してください。
- 緩んでいる場合でも、緩みをしっかりと固定することにより適切にご使用いただけます。



緩んでいる場合には、キャップを押さえ、プランジャーを時計回りに回転させてガスケットにねじ込み、しっかり固定してください。

4 異常がないかを確認します。

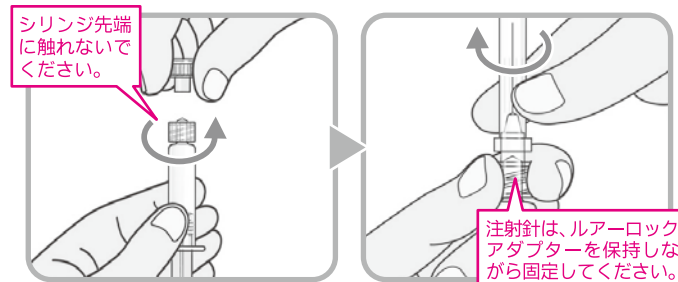
- 粒子状物質や変色が認められた場合には、使用しないでください。

5 シリンジのキャップを外し、用意した注射針を時計回りにねじ込み、しっかり固定します。

- シリンジ本体を持って、先端部にあるキャップを時計と反対回りにねじって外します。その際、シリンジ先端に触れないでください。
- 次に、ルアーロックアダプターをしっかりと保持したまま、注射針を時計回りに回転させてねじ込み、しっかり固定してください。

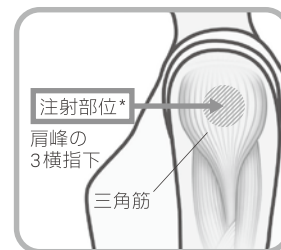
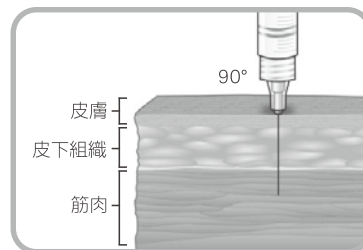
※ ルアーロックアダプターを保持せず注射針を回転させた場合、ルアーロックアダプターが注射針と共に回転し、しっかり固定できないおそれがあります。

※ 注射針の取り付けが強すぎたり、弱すぎると、針基が割れたり、シリンジ先端と針基に隙間が生じて液漏れを引き起こすおそれがあります。



6 注射針キャップを外し、全量を筋肉内注射します。

- シリンジ内の気泡を除去する場合には、注射液を減じないように注意してください。
- アルコール等で消毒した後、皮膚面に垂直に針を刺し、上腕の三角筋中央部に筋肉内注射してください。
- 三角筋に針が十分達するように刺入してください。
- 静脈内又は皮下には接種しないでください。



*: 接種部位としては、前後の腋窩ひだの上縁を結ぶ線 (上腕と体幹が分かれる高さ) と肩峰中央からの垂線の交点も推奨されています。

7 使い終わったら、医療廃棄物として適切に廃棄します。

- シリンジ及び注射針は、医療廃棄物扱いです。

MSDカスタマーサポートセンター

医療関係者の方 (MSD製品全般) 0120-024-961
(ワクチン専用) 0120-024-797
受付時間: 9:00~17:30 (土日祝日・当社休日を除く)



製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
<https://www.msd.co.jp/>

2025年3月作成
CAP25PH0010